

## 第44回BCP維持管理研究会 議事録

1. 日時： 2014年6月27日(金) 17:00-19:00

2. 場所： BCAO東京オペレーション事務所

3. 出席者(敬称略) 8名

深谷(書記)、中谷、田中、小田、澤田、平川、日下、佐藤

### 4. 内容

(1) 研究会メンバ自己紹介 (現時点では20名登録)

(2) 研究会活動について意識した点 (深谷)

- ・研究会メンバに役立つ活動、参加者へのメリット、また参加できないメンバへの情報提供
- ・各自の立場、BCP習熟度、レベルにあった活動
- ・先を見た活動、長い目でみた活動、育成の観点
- ・活動の結果が共有でき、より多くの人に(BCAO会員、非会員)役だつ活動

(3) BCM維持管理のポイント (澤田)

- ・構成員(人)、体制、ドキュメントの観点で説明、意見交換を行った
- ・人、組織が変わっても、マネジメント、活動のレベルを変えないことを基本思想とする
- ・トップマネジメントから一般従業員までを対象とする階層別の研修を継続的に行う
- ・e-ラーニングだけでなく、後でも見られるテキストも必要
- ・部会や朝礼での意識づけ
- ・監査でのヒヤリングに応えることは、トップマネジメントや職制の意識づけには有効
- ・BCMという言葉より、供給責任や人命安全といった言葉を使うとひびく
- ・他のマネジメントシステム(ISMS、品質、環境)と一緒に、集中的にレビューを行うとマネジメントシステムの仕組みに関する課題が見えてくる。
- ・用語は、対象者に合わせた平易な表現にすること
- ・マニュアルは、文章の羅列ではなくフローチャートのように流れが目で見える形式が運用には有効

(4) BCP維持管理の評価ポイント (中谷)

- ・ISO22301 要求事項に合わせた、8つの評価軸でのチェック項目を説明  
事業継続マネジメント(BCM)として、自社の進捗や達成状況を全体的な視点で確認することが必要である。(BCPを策定して訓練だけでは全体が見えなくなる恐れがある。)
- ・災害対策標準化検討会議報告書(H26.3)の資料より「防災に対する企業の取り組み」

### 5. 次回開催

2014年7月17日(木) 17:00- 場所調整中

内容： 初動訓練のシナリオ・評価について(仮)

<今後の活動予定>

8月 休会

9月25日(木) 16:00-18:00 レスキューナウ・オペレーションセンター見学

10月 初動対応訓練の実施（実際の訓練を実施してみます）場所：青山SGSK

以上